

／ 新たな5年の始まりを告げる ／



未来に続く まちづくり予算



令和7年度当初予算が2月定例会で承認されました。

市民の皆さんや四日市のまちにとって大切な予算。とはいえ、

「難しそうで、しっかり見たことがない」という人も多いのではないのでしょうか。

今年度の予算のポイントや、皆さんに納めていただいた大切な税金の具体的な使い道をお知らせします。

(金額は端数処理している部分があります)

誰もが住みやすいと感じるまちづくり

令和7年度は、四日市市総合計画(2020-2029)の中間見直し後、新たな5年間がスタートする年度です。本市が目指す将来都市像を実現するための政策・施策の着実な実行と、一層の推進を図る予算を編成しています。これからの人口減少を見据えつつ、中心市街地再開発プロジェクトやこどもまんなか社会の実現、ゼロカーボンシティを目指すまちづくりなど、中長期的な課題への対応を加速させ、さらなる市民サービス向上を目指していきます。



本市の目指す4つの将来都市像

四日市未来ビジョン「ゼロからイチを生み出すから イチから未来を 四日市」に基づき、4つの将来都市像の実現に向け、市民・事業者の皆さんとともに「オール四日市」でまちづくりを推進していきます。

1

子育て・教育
安心都市

四日市で子どもを産み、育てたい。四日市で学べて良かったと思える、子どもと家族にやさしいまち

2

産業・交流
拠点都市

都市機能の集積と高次化、近未来技術の社会実装を進め、人の交流が仕事や魅力を生みだす好循環のまち

3

環境・防災
先進都市

豊かな環境を基本とした都市整備と防災力強化を両輪に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまち

4

健康・生活
充実都市

生涯にわたり健康で、暮らしの中で楽しみと幸せを実感できるまち

何に使うの？ 四日市市のお財布事情

予算総額 3,138億2,490万円

前年度比

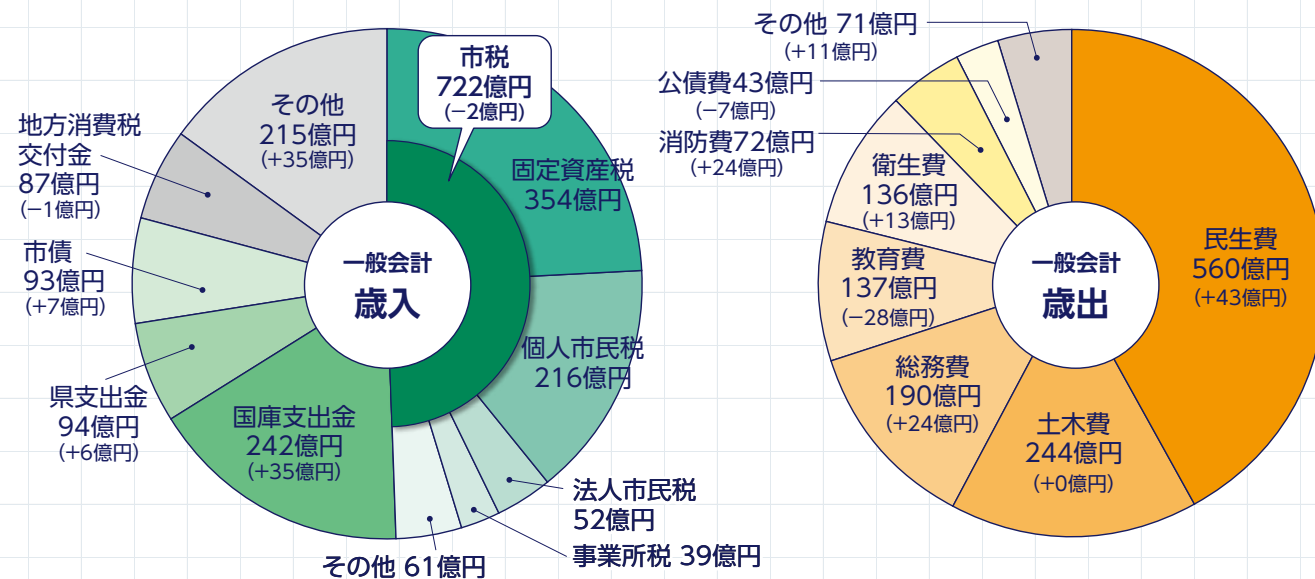
+159億9,650万円

一般会計 1,453億2,000万円 / 特別会計など 926億1,390万円 / 企業会計 758億9,100万円

(教育・福祉など自治体の基本業務を行うための予算)

(国民健康保険料など特定の目的に使う予算)

(病院・水道などが事業を運営するための予算)



市民1人あたりの予算に換算すると？

約47.6万円

※一般会計ベース。
令和7年3月末時点



総務費

約6.2万円
防災や文化・スポーツ振興に



消防費

約2.4万円
救急・消防活動に



民生費

約18.3万円
こども・お年寄りの福祉などに



衛生費

約4.5万円
ごみ処理や市民の健康づくりなどに



公債費

約1.4万円
市の借入金返済に



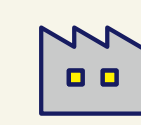
土木費

約8.0万円
道路・公園の整備などに



教育費

約4.5万円
教育や博物館などの運営や整備に



その他

約2.3万円
商工業・農林業の振興などに

1人当たりの金額だと
身近に感じられるね

令和7年度予算のポイント

中心市街地再開発と子育てに重点的に配分

令和7年度一般会計当初予算は、前年度と比べて80億円増加し、過去最大になりました。中央通り再編事業の本格化や、多様なこどもの居場所づくりのための事業を盛り込んでいます。

本市の財政状況は、700億円を上回る市税収入に支えられ、健全な状況を維持しています。今後も最小の経費で最大の効果を得られるよう、適正な財政運営をしていきます。

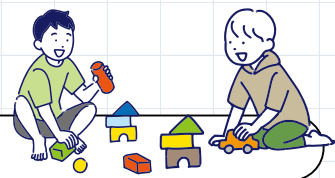
各施策や
予算の概要は
こちらへ



今年度取り組む主な事業

令和7年度に行う事業のうち、新たな取り組みや内容を拡充する取り組みを、まちづくりにおける9つの分野ごとに紹介します。

※表記している金額は、今年度の予算額です



子育て・教育

こどもまんなか社会の実現に向けたこども施策の拡充

こどもが安全に安心して過ごせる環境づくり

こどもがさまざまな場所で成長できるよう、学校や地域、民間団体と連携しながら、こどもの居場所づくりを進めます。こどもの居場所づくりに取り組む団体への経費の補助や、団体同士の意見交換の場を設けます。



こどもの居場所づくり事業 3,600 万円

担当：こども未来課

待機児童の解消

私立の保育施設の受け入れを増やすため、市独自の支援制度を新たに創設します。また、保育園などに入所できず、認可外保育所施設を利用している世帯への保育料の補助や、待機児童を受け入れる認可外保育施設を支援します。

待機児童対策事業 2 億 694 万円

担当：保育幼稚園課



小・中学校への空調整備を開始

良好な学習環境の確保と熱中症対策のため、空調設備が整備されていない小・中学校の屋内運動場や特別教室などに、リース方式で空調設備を整備し、令和9年4月の使用開始を目指します。



小中学校屋内運動場・特別教室等空調設備整備事業 355 万円

担当：教育施設課

産業・港湾

地域産業の活性化

じばさんの再整備に向けた設計やプレ事業を実施

四日市市地場産業振興センター（じばさん）を、スタートアップ支援やリカレント教育・リスクリング（学び直し）、産業情報発信などの機能を備えた「産業の新たな拠点施設」として整備するための準備を進めます。



新産業拠点創設事業 874 万円

担当：商業労政課

環境・景観

カーボンニュートラル社会の推進

脱炭素に取り組む中小企業を応援

市内の中小企業が取り組む、温室効果ガスの排出量算定、削減目標の策定、国際認証である SBT 認証の取得にかかる経費を補助します。2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた、中小企業の脱炭素経営を支援します。



中小企業脱炭素経営支援事業費補助金 500 万円

担当：環境政策課

文化・スポーツ・観光

四日市市ならではの魅力づくり

四日市花火大会を再開

四日市花火大会を再開し、その経費の一部を四日市花火大会実行委員会へ補助します。今年度は8月31日（予備日9月7日）に、打ち上げ場所を千歳地区第2・3埠頭に変更して開催予定です。約3,000発の花火が夜空を彩ります。

四日市花火大会事業費補助金 7,000 万円

担当：観光交流課



スポーツによるにぎわいづくり

ランニングイベントを開催

中央緑地発着、三滝通り、臨港通りを含む10kmコースでのランニングイベントを開催することで、市の魅力発信、スポーツ振興、健康増進につなげます。

ランニングイベント開催事業 3,590 万円

担当：スポーツ課

休日の部活動を地域で実施

教員の負担軽減と部活動指導の質の充実のため、部活動指導員・部活動協力員を配置します。また、こどもたちが希望する部活動を選択できるよう、拠点型活動の拡充、総合型地域スポーツクラブとの連携により、部活動の地域展開を目指します。



部活動サポート事業 5,404 万円

担当：みんなのブカツ推進室

交通・にぎわい

駅周辺のにぎわいづくり

中央通り再編を中心としたまちづくり

近鉄四日市駅周辺の歩行者デッキ工事や、駅とデッキをつなぐ連絡通路の工事を進めていくとともに、にぎわいの交流広場となる中央通り公園の整備に取り組みます。



© 四日市市・目建設計

中央通り再編イメージ



© 四日市市・目建設計

中央通り公園

中央通り再編事業 39 億 1,520 万円

担当：市街地整備課

新図書館候補地の選定

新図書館候補地（市役所北側民有地）での用地確保に向け、用地測量などの調査を行います。

新図書館等拠点施設整備事業 3,470 万円

担当：政策推進課

楽しみ♪



防災・消防

市民の暮らしと安全を守る

大規模災害への備えを強化

大規模災害時に指定避難所などへ物資を円滑に配送するため、備蓄品管理システムの導入を検討します。また、災害時の給水活動をより効率的に行うため、組立式給水タンクを10基配備します。



防災倉庫備蓄品等整備事業 917 万円

担当：危機管理課

消防指令システムを更新

令和8年4月の運用開始を目指して、四日市市・桑名市・菰野町の3消防本部で運用している消防指令システムの更新、消防指令センターの改修工事を実施します。また、消防活動の高度化を図るため、IP無線機とウェアラブルカメラを導入します。



消防指令システム整備事業 20 億 166 万円

担当：消防本部情報指令課

消防出張所を整備

南消防署西南出張所（小山田地区市民センター併設）を、六名町内に独立した消防出張所として整備します。令和8年3月の運用開始を目指し、消防活動拠点としての機能を強化します。

消防出張所整備事業 2 億 9,229 万円

担当：消防本部総務課



完成予想図

命を守るまちづくりが進められているんだね

生活・居住

ダイバーシティ社会の実現

海外都市との交流を推進

中国天津市との友好都市提携45周年記念事業を実施するほか、環境交流や経済交流などを行います。また、姉妹都市米国ロングビーチ市との交換学生・教師の派遣を行います。

国際交流事業 2,783 万円

担当課：秘書国際課



ロングビーチ市からの交換留学（令和6年度）



天津市との友好都市提携45周年ロゴマーク

健康・福祉・医療

健康長寿に向けた取り組みの強化

高齢者の補聴器購入費用を助成

加齢とともに耳が聴こえにくくなると、認知症の発症リスクが高まります。

補聴器の購入費用を助成することで、高齢者のコミュニケーションを確保し、積極的な社会参加と地域の交流を支援します。助成開始時期は、今後、広報でお知らせします。



高齢者補聴器購入費用助成事業 567 万円

担当：高齢福祉課

带状疱疹ワクチンの定期接種を開始

65歳になる人を対象に带状疱疹ワクチンの定期接種を行い、带状疱疹と合併症の発症予防に取り組みます。令和7年度から5年間は、65歳を超える5歳年齢ごとの高齢者を定期予防接種の対象に含めて実施します。



高齢者带状疱疹ワクチン事業
2億 2,618 万円

担当：健康づくり課

都市経営の土台・共通課題

選ばれるまちであるために

本市の魅力を効果的に発信

テレビやラジオ、デジタルサイネージや電車の中吊り広告などを活用して、本市の魅力を発信します。また、本市の観光資源・地場産品の魅力を発信するための商品の販売や、PRイベントを開催し、本市の認知度や都市イメージの向上を図ります。

シティプロモーション事業 9,135 万円

担当：観光交流課



正式販売を開始する「泗水十貨店」や鉄道広告で市の魅力をPR

行政手続きのデジタル化

「回らない窓口」の導入準備など

複数の窓口を回ることなく1カ所で事務手続きができる「回らない窓口」の導入に向けた検討や、自宅でもオンライン申請が可能な手続きの拡大など、デジタル化を推進することで、市民の皆さんの窓口での利便性を向上します。

行政手続のデジタル化事業 8,414 万円

担当：デジタル戦略課



ワンストップ窓口

ひとつの窓口で複数の手続きを受け付け



チャットボットでいつでも、どこからでも、質問に回答